

授業科目		対象学科・専攻	年次	期別
国語 Japanese Language		児童教育学科 幼児教育学専攻	1年次	通年
講義・演習・実技・ 実習・実験	単位数	卒業認定	担当教員	
演習	2	必修	中司 志磨子	
概要				
<p>一般社会で生きて働く「国語」の力（読む・書く・聞く・話す）全般にわたって具体的教材を通して学習する。 日本文学史並びに代表的文学作品を概観し、日本人としての教養を深める。</p>				
到達目標				
<p>(1) 国語・漢和辞書を的確かつ迅速に、目的に応じて利用できる。 (2) 常用漢字や主要な熟字訓等の読み書きができる。 (3) 日本の代表的な文学を読み味わい、その特徴や良さを適切な話し方で発表できる。</p>				
授業内容とすすめ方				
<b>【前期】</b> 1 「国語」学習の意義・ガイダンス 2 辞典の引き方・小テスト練習 3 五十音図・その他の日本語の音韻 4 いろは歌・いろはかるた 5 日本のことわざの意味を考える 6 日本語の表記・平仮名・片仮名 7 変体仮名・万葉仮名① 8 万葉仮名②万葉集を読もう 9 百人一首に親しむ①―百首を読み通す 10 百人一首に親しむ② ―好きな歌（得意な札）を味わう― 11 百人一首に親しむ③ ―有名歌を味わう― 12 百人一首に親しむ④ ―有名歌を味わう― 13 俳諧の連歌・俳句の概要 14 古典俳句を味わう① ―芭蕉― 15 古典俳句を味わう② ―蕪村・一茶―		<b>【後期】</b> 1 近代・現代の俳句を味わう 2 種田山頭火①―自由律俳句を味わう― 3 種田山頭火②―映像で見る生涯― 4 種田山頭火③―「行乞記」を読む― 5 種田山頭火④―「行乞記」を読む― 6 種田山頭火⑤―生き方考える― 7 与謝野晶子①―短歌を味わう― 8 与謝野晶子②―詩を味わう― 9 与謝野晶子③―生き方考える― 10 山口県の詩人①―金子みすゞ― 11 山口県の詩人②―まどみちお― 12 童謡の心と言葉①―赤とんぼ― 13 童謡の心と言葉②―故郷― 14 職場で使われる敬語① ―尊敬語・丁寧語・謙譲語― 15 職場で使われる敬語―クッション言葉―		
成績評価 方 法	定期試験（知識・理解）40％ 毎時間の小テスト（技能・思考・判断）30％ 毎時間の発表（関心・意欲・態度）30％			
テキストおよび 参 考 文 献	<ul style="list-style-type: none"> <li>・☆国語辞典 ☆漢和辞典（高等学校で使用する程度のもの・電子辞書は不可）</li> <li>テキスト「国語」山口短期大学 刊</li> <li>・資料プリントはその都度配布。</li> </ul>			
メ ッ セ ー ジ な ど	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎時間、辞書を引きながらの小テストを実施。</li> <li>・上記☆印の辞典 テキストは各自必ず準備、毎時間持参のこと。</li> <li>・配布した資料プリントをまとめるA4ファイル、記録用ノートを用意のこと。</li> </ul>			

授業科目		対象学科・専攻	年次	期別
音楽 I Music I		児童教育学科 幼児教育学専攻	1年次	通年
講義・演習・実技・ 実習・実験	単位数	卒業認定	担当教員	
演習	2	必修	田中 奏子・安部 浩信・ 大谷 美和	
概要				
音楽理論、ソルフェージュなど音楽の基礎を学習し、音楽的能力や感性を磨く。 幼児音楽の世界を学び、幼児の音楽を学習する。 保育現場での幼児音楽教育に必要な、歌唱指導法、合奏指導法、音楽表現法などを学習する。				
到達目標				
(1) 音楽の基礎を理解し、幼児の歌のための基礎を歌唱できる。 (2) 楽譜を正しく読み取り、幼児のための歌唱が表現できる。 (3) 楽譜の指示を理解し、簡易楽器演奏ができる。				
授業内容とすすめ方				
【前期】		【後期】		
1 音楽理論・幼児の歌について		1 器楽合奏法		
2 春の歌① ソルフェージュ 音楽表現① (手遊び、指遊び)		保育で用いる器楽の特徴と奏法 1 週目		
3 春の歌② ソルフェージュ 音楽表現② (手遊び、指遊び)		2 器楽合奏法 保育で用いる器楽の特徴と奏法 2 週目		
4 夏の歌① ソルフェージュ 音楽表現③ (手遊び、指遊び)		3 器楽合奏法 保育で用いる器楽曲 1 週目 ブンブンブン ぞうさん アイアイ		
5 夏の歌② ソルフェージュ 音楽表現④ (手遊び、指遊び)		4 器楽合奏法 保育で用いる器楽曲 2 週目 ブンブンブン ぞうさん アイアイ		
6 秋の歌① ソルフェージュ 音楽表現⑤ (手遊び、指遊び)		5 器楽合奏法 保育で用いる器楽合奏曲 1 週目 さんぼ アンパンマンのマーチ		
7 秋の歌② ソルフェージュ 音楽表現⑥ (手遊び、指遊び)		6 器楽合奏法 保育で用いる器楽合奏曲 2 週目 さんぼ アンパンマンのマーチ		
8 冬の歌① ソルフェージュ 音楽表現⑦ (手遊び、指遊び)		7 器楽合奏法 保育で用いる器楽合奏曲 3 週目 さんぼ アンパンマンのマーチ		
9 冬の歌② ソルフェージュ 音楽表現⑧ (手遊び、指遊び)		8 歌唱法 4月、5月、6月の歌		
10 音楽理論 簡易伴奏基礎 (ハ長調)		9 歌唱法 7月、8月、9月の歌		
11 音楽理論 簡易伴奏基礎 (ニ長調)		10 歌唱法 10月、11月、12月の歌		
12 音楽理論 簡易伴奏基礎 (ヘ長調)		11 歌唱法 1月、2月、3月の歌		
13 音楽理論 簡易伴奏基礎 (ト長調)		12 歌唱法 愛唱歌①		
14 音楽理論 簡易伴奏基礎		13 歌唱法 愛唱歌②		
15 音楽理論 簡易伴奏基礎		14 歌唱法 愛唱歌③		
		15 歌唱法 愛唱歌④		
成績評価 方 法	毎回の学習状況 (関心・意欲・態度) 25%、基礎歌唱 (表現力) 25%、歌唱 (表現力) 25%、楽器演奏 (表現力・判断力) 25%			
テキストおよび 参 考 文 献	森田 百合子 他「幼児の音楽教育」教育芸芸術社 鈴木 恵津子「うたっておどっておもちゃ箱 2」教育芸芸術社			
メ ッ セ ー ジ な ど	幼稚園教諭二種免許、保育士資格：必修科目			

授業科目		対象学科・専攻	年次	期別
音楽Ⅱ Music II		児童教育学科 幼児教育学専攻	1年次	通年
講義・演習・実技・ 実習・実験	単位数	卒業認定	担当教員	
演習	2	選択	藤澤 初美・田中 奏子・大谷 美和	
概要				
それぞれのピアノ演奏技術の向上を目指す。また、保育現場で活用できる幼児の歌唱教材の伴奏法を学ぶ。個人レッスンの形態で演習する。				
到達目標				
(1) 楽譜の読み方を詳しく学ぶ事ができる。 (2) ピアノ演奏技術の基礎を習得できる。 (3) 保育現場に必要な歌唱教材の伴奏法を習得できる。				
授業内容とすすめ方				
【前期】		【後期】		
1	ピアノ曲演奏① ピアノの扱い方 ピアノ楽譜の読みとり方	1	伴奏曲演奏① 2拍子	—1週目—
2	ピアノ曲演奏② ピアノ曲目説明	2	シャボン玉 かたつむり	—2週目—
3	ピアノ曲演奏③ バイエル15番	3	シャボン玉 かたつむり	—3週目—
4	ピアノ曲演奏④ バイエル28番	4	とんぼのめがね どんぐりころころ	—4週目—
5	ピアノ曲演奏⑤ バイエル48番	5	とんぼのめがね どんぐりころころ	—5週目—
6	ピアノ曲演奏⑥ バイエル51番	6	うれしいひな祭り	—1週目—
7	ピアノ曲演奏発表 伴奏曲演奏について	7	こいのぼり ありさんのおはなし	—2週目—
8	伴奏曲演奏① ハ長調 —1週目— ハ長調音階 おおきなクリの木の下で むすんでひらいて	8	こいのぼり ありさんのおはなし	—1週目—
9	伴奏曲演奏② ハ長調 —2週目— おおきなクリの木の下で むすんでひらいて	9	お正月	—1週目—
10	伴奏曲演奏③ ト長調 —1週目— ト長調音階 うみ	10	ピアノ曲演奏①	—1週目—
11	伴奏曲演奏④ ニ長調 —1週目— ニ長調音階 チューリップ	11	教材「音楽Ⅱ」より選択	—2週目—
12	伴奏曲演奏⑤ ニ長調 —2週目— チューリップ	12	教材「音楽Ⅱ」より選択	—3週目—
13	伴奏曲演奏⑥ ニ長調 —3週目— チューリップ	13	教材「音楽Ⅱ」より選択	—4週目—
14	伴奏曲演奏⑦ ヘ長調 —1週目— ヘ長調音階 きらきら星	14	教材「音楽Ⅱ」より選択	—5週目—
15	伴奏曲演奏⑧ ヘ長調 —2週目— きらきら星 たなばたさま	15	教材「音楽Ⅱ」より選択	—6週目—
成績評価 方 法	定期試験（表現力・理解力・判断力・技術力）100%			
テキストおよび 参 考 文 献	幼稚園教諭保育士養成課程をめざす学生のための音楽教材「音楽Ⅱ」（山口短期大学）			
メッセー ジ な ど	幼稚園教諭二種免許、保育士証：必修科目			

授業科目		対象学科・専攻	年次	期別
器楽 I Instrumental Music I		児童教育学科 幼児教育学専攻	2年次	前期
講義・演習・実技・ 実習・実験	単位数	卒業認定	担当教員	
演習	1	選択	田中 奏子・藤澤 初美・ 細山田 亜矢子・宮本 千穂・ 上田 奈々・大谷 美和	
概要				
ピアノ演奏技術の向上を目指すと共に、保育現場に必要な伴奏法・弾き歌いの方法を学ぶ。また、簡易伴奏法はハ長調・ト長調・ニ長調・ヘ長調の I IV V (V 7) の和音を修得し伴奏に活用できる方法を学ぶ。各自のピアノ演奏技術にあわせ個人レッスンの形態で学ぶ。				
到達目標				
(1) より高度なピアノ演奏技術を習得できる (2) ハ長調・ト長調・ニ長調・ヘ長調の I IV V (V 7) の和音を修得し、伴奏に活用できる (3) 保育現場に必要なレパートリーが増え、弾き歌いできる				
授業内容とすすめ方				
1	弾き歌い①	ハ長調伴奏—1週目— おおきなクリの木の下で かたつむり てをたたきましょう		
2	弾き歌い②	ハ長調伴奏—2週目— おおきなクリの木の下で かたつむり てをたたきましょう		
3	弾き歌い③	ハ長調伴奏—3週目— とんぼのめがね やきいもグーチャーパー		
4	弾き歌い④	ト長調伴奏—1週目— うみ 幸せなら手をたたこう ふしぎなポケット		
5	弾き歌い⑤	ト長調伴奏—2週目— うみ 幸せなら手をたたこう ふしぎなポケット		
6	弾き歌い⑥	ニ長調伴奏—1週目— チューリップ あくしゅでこんにちは とけいのうた		
7	弾き歌い⑦	ニ長調伴奏—2週目— チューリップ あくしゅでこんにちは とけいのうた		
8	弾き歌い⑧	ニ長調伴奏—3週目— チューリップ あくしゅでこんにちは とけいのうた		
9	弾き歌い⑨	ヘ長調伴奏—1週目— たなばたさま きらきら星 ブン ブン ブン やぎさんゆうびん		
10	弾き歌い⑩	ヘ長調伴奏—2週目— たなばたさま きらきら星 ブン ブン ブン やぎさんゆうびん		
11	弾き歌い⑪	ヘ長調伴奏—3週目— たなばたさま きらきら星 ブン ブン ブン やぎさんゆうびん		
12	弾き歌い⑫	自由曲 (保育実習で必要と考える曲)		
13	弾き歌い⑬	自由曲 (幼稚園実習で必要と考える曲)		
14	弾き歌い⑭	自由曲 (幼稚園実習で必要と考える曲)		
15	ピアノ演奏	自由曲 (保育現場で演奏する曲)		
成績評価 方 法	毎回の学習状況 (関心・意欲・態度) 50%、 定期試験 (表現力・理解力・判断力) 50%			
テキストおよび 参 考 文 献	森田 百合子 他「幼児の音楽教育」教育芸術社			
メ ッ セ ー ジ な ど	保育現場で音楽指導ができるようになりましょう。			

授業科目		対象学科・専攻	年次	期別
図画工作 Arts and Handicrafts		児童教育学科 幼児教育学専攻	1年次	通年
講義・演習・実技・ 実習・実験	単位数	卒業認定	担当教員	
演習	2	必修	縄田 也千	
概要				
<p>絵画、デザインの領域にわたり、幼児教育の基本的内容を中心として演習する。また、幼児の興味を引く課題を織り交ぜながら図画工作のあり方を考える。平面・立体の表現を通して作る喜びを味わう。</p> <p>保育所・施設、幼稚園等の現場で行われている作業、特に保育者自体の作業や環境整備を主な演習としているので、子どもにとって落ち着いていられるような環境を与える事を目的とする。ここでは、施設での内容として、おもちゃや粘土製作と幼児のための絵本製作を行い、その造形を深める。</p>				
到達目標				
<p>(1) それぞれの造形素材、技法及び道具についての基本的な知識を身につけることができる。</p> <p>(2) 課題の内容を理解し、子どもが使いやすい作品として表現することができる。</p> <p>(3) 使いやすいデザインを工夫し、保育現場で実践できるものを創造することができる。</p>				
授業内容とすすめ方				
<b>【前期】</b> 1 授業演習の概要についてと心構え 2 おもちゃの製作① -顔が変る人形- 3 おもちゃの製作② -ふくろう笛- 4 おもちゃの製作③ -パクパク人形- 5 焼き物用粘土の取り扱いについて 6 土鈴の製作 7 玉づくりの製作方法と製作 8 玉づくりの底削りの製作方法と製作 9 玉づくりの底削りの製作 10 施釉 11 焼物の評価・鑑賞 12 画面構成表現テスト① 13 画面構成表現テスト②-評価・まとめ- 14 おもちゃの製作④-ジグソーパズル- 15 おもちゃの製作⑤-紙トンボ-		<b>【後期】</b> 1 簡単な仕掛け絵本の製作の概要 2 仕掛け絵本の構想①-テーマの設定- 3 仕掛け絵本の構想②-ストーリー- 4 仕掛け絵本の構想③-場面設定- 5 仕掛け絵本の構想④-画面構成- 6 仕掛け絵本の構成①-小作品の下描き- 7 仕掛け絵本の構成②-小作品の仕掛け- 8 製本 9 仕掛け絵本の製作①-下描き- 10 仕掛け絵本の製作②-下描き仕上げ- 11 仕掛け絵本の製作③-大まかな着彩- 12 仕掛け絵本の製作④-細かい着彩- 13 仕掛け絵本の製作⑤-着彩仕上げ- 14 指導案の概略と作成 15 各自の指導案の作成		
成績評価 方 法	作品を主体とし、学修の意欲を総合します。 粘土作品（表現）20%、おもちゃ製作（表現・関心）30%、絵本製作（表現）40%、 指導案（技術）10%、			
テキストおよび 参 考 文 献	「図画工作」山口短期大学			
メ ッ セ ー ジ な ど	毎回の授業の取り組みを重視します。			

授業科目		対象学科・専攻	年次	期別
幼児図画工作 Arts and Handicrafts for Infant		児童教育学科 幼児教育学専攻	2年次	前期
講義・演習・実技・ 実習・実験	単位数	卒業認定	担当教員	
演習	1	選択	縄田 也千	
概要				
<p>素材として紙を主材料とし、紙芝居の製作を中心に幼児図画工作の基本的技術の習得を目的とする。幼児の立場・保育者の立場を想定し、それぞれに応じた物をつくっていく。就職試験で模擬授業を行う場合を想定して、各自一つ紙芝居を製作し実習にも役立てるようにする。</p>				
到達目標				
<p>(1) 紙芝居の歴史を知り、制作方法の手順を列記することができる。  (2) 表現したい内容についての積極的な調査をし、図案を考え、文章を練り、子どもに紙芝居を通じて「何を伝えたいか」という問題意識を高めることができる。  (3) ポスターカラーの扱いに熟達し、文章に見合った絵を描くことができる。また、演技者として子どもに分かりやすく紙芝居を演ずることができる。</p>				
授業内容とすすめ方				
<p>1 授業演習の概要について  2 封筒で作るこいのぼり（年少・年中・年長の発達に応じた作り方）  3 紙芝居の歴史  4 紙芝居の製作についての概要、参考作品の鑑賞  5 紙芝居の演出方法について  6 お話の設定 ストーリーを考える① －生活習慣（歯をみがこう、など）－  7 お話の設定 ストーリーを考える② －道徳的内容（お友だちと仲良く、など）－  8 お話の設定 ストーリーを考える③ －文学的内容（ファンタジーなど）  その他、「領域」に関する内容も考察する。</p> <p>9 場面の絵を描く① －下描き－  10 場面の絵を描く② －彩色1週目－  11 場面の絵を描く③ －彩色2週目－  12 場面の絵を描く④ －彩色3週目－  13 場面の絵を描く⑤ －彩色4週目－  14 場面の絵を描く⑤ －彩色4週目－  15 実技発表・講評</p>				
成績評価 方 法	作品の内容（絵と文章の構成力、完成度）40%、毎回の学習状況（意欲・関心・態度）40%、実技発表（表現力）20%			
テキストおよび 参 考 文 献	テキスト：幼児の図画工作（山口短期大学）			
メ ッ セ ー ジ な ど	出席とやる気が作品の良し悪しに関わってきます。休まないで受講し、完成させましょう。ポスターカラーの扱い、構成力、演技力を身に付けたい人。 保育士証：選択必修科目			

授業科目		対象学科・専攻	年次	期別
体育 Physical education		児童教育学科 幼児教育学専攻	1年次	通年
講義・演習・実技・ 実習・実験	単位数	卒業認定	担当教員	
演習	2	必修	子安 崇夫	
概要				
<p>元来、子どもにとって「あそび」は生活そのものだが、近年、子どもを取り巻く環境が変化し、子どものあそびが貧弱なものになってきている。「体育」では、「自ら組織してあそぶ」ということを主眼に、しっぽを使用した「しっぽとり」をベースにあそびの内容・指導方法を学ぶことをねらいとする。</p>				
到達目標				
<p>(1) あそびをあそびとして楽しむことができる。  (2) 発達段階に応じた運動あそびの内容、主にしっぽを使ったあそびのルールづくりができる。  (3) 運動あそび、主にしっぽを使ったあそびの指導を含めた発表ができる。</p>				
授業内容とすすめ方				
<b>【前期】</b> 1 オリエンテーション① ー授業の心構え及びレクリエーションゲームー 2 オリエンテーション② ーコミュニケーションづくりレクリエーションゲームー 3 オリエンテーション③ ー授業の目的・内容ー 4 しっぽづくり 5 しっぽを使ったあそびの指導① ー目的・目標についてー 6 しっぽを使ったあそびの指導② ー内容についてー 7 しっぽを使ったあそびを考える 8 しっぽを使ったあそびの発表①第一グループ 9 しっぽを使ったあそびの発表②第二グループ 10 しっぽを使ったあそびの発表③第三グループ 11 しっぽを使ったあそびの発表④第四グループ 12 あそびを指導するときに必要な技術の学習 13 しっぽを使ったあそびの指導③ ールールについてー 14 しっぽを使ったあそびの指導④ ー応用についてー 15 まとめ		<b>【後期】</b> 1 オリエンテーション 2 しっぽ陣とりの基本的なルールで遊ぶ① 3 しっぽ陣とりのグループづくり 4 しっぽ陣とりの基本的なルールで遊ぶ② 5 しっぽ陣とりのルールづくり①第一グループ 6 しっぽ陣とりのルールづくり②第二グループ 7 しっぽ陣とりのルールづくり③第三グループ 8 しっぽ陣とりのルールづくり④第四グループ 9 しっぽ陣とりのルールづくり⑤第五グループ 10 ルールづくりの意味について考える 11 しっぽじんとりが十分に楽しめる力について考える 12 しっぽじんとりの作戦を深めながら遊ぶ① ー対戦形式1回目ー 13 しっぽじんとりの作戦を深めながら遊ぶ② ー対戦形式2回目ー 14 しっぽじんとりの作戦を深めながら遊ぶ③ ー対戦形式3回目ー 15 まとめ		
成績評価 方 法	授業態度（意欲・態度）40%、ファイル提出（知識・意欲・資料整理）50%、最終レポート（関心・知識）10%			
テキストおよび 参 考 文 献	テキスト みんなが輝く体育① 幼児期 運動あそびの進め方 学校体育研究同志会編 創文企画			
メ ッ セ ー ジ な ど	幼稚園教諭二種免許、保育士証：必修科目			

授業科目		対象学科・専攻	年次	期別
社会福祉 Social Welfare		児童教育学科 幼児教育学専攻	1年次	前期
講義・演習・実技・ 実習・実験	単位数	卒業認定	担当教員	
講義	2	必修	梅田 美穂	
概要				
社会福祉の歴史的背景から現在に至るまでの社会福祉制度を理解し、現在社会において多様化している社会福祉ニーズや、社会福祉事業所等での現状と課題を学ぶ				
到達目標				
(1) 社会福祉の歴史や基礎概念について説明することができる。 (2) 社会福祉の法律、制度や機関・施設の役割について主体的に考えることができる。 (3) 社会福祉事業所等における支援の必要性について説明することができる。				
授業内容とすすめ方				
1 社会福祉とは ―オリエンテーション― 2 社会福祉の基礎概念 3 社会福祉をとりまく現状 4 社会福祉の歴史（戦前、戦後） 5 社会福祉の仕組みと運営 6 社会福祉の援助 7 資源（サービス）の種類 8 社会福祉の機関と施設 9 社会保障・公的扶助 10 障害者福祉制度 11 障害福祉施設から見た社会福祉 12 社会福祉の仕事について 13 地域福祉とこれからの課題（権利擁護他） 14 社会福祉に関わる人びと 15 これからの社会福祉				
成績評価 方法	講義中の発表・感想レポート（関心・意欲・態度）50%、 レポート（知識・思考力・表現力）50%			
テキストおよび 参考文献	テキスト：配付資料 参考文献：松原康雄 坪洋一 金子充 編「社会福祉（基本保育シリーズ④）」 中央法規 その他の参考書はその都度紹介します			
メッセージ など	毎回資料を配布しますので、ファイル等に保管し毎回持参することが望ましい。 保育士証：必修科目			



授業科目		対象学科・専攻	年次	期別
相談援助 Social Work		児童教育学科 幼児教育学専攻	2年次	前期
講義・演習・実技・ 実習・実験	単位数	卒業認定	担当教員	
演習	1	選択	今川 晋平・梅田 美穂	
概要				
相談援助において必要な方法や技術を理解し、援助者としての自己への理解を深め、保育現場において相談援助の理論や方法を活用できる技術を身につけることをねらいとし、相談援助の理論や意義、方法とその具体的展開について演習を交えながら解説する。				
到達目標				
(1) 相談援助の意義、機能、対象を説明することができる。 (2) 相談援助の方法や技術を説明することができる。 (3) 模擬面接場面において、援助者として参加することができる。				
授業内容とすすめ方				
1 相談援助とは何か ―オリエンテーション― 2 なぜ相談援助は必要か ―相談援助の意義― 3 相談援助の機能 4 相談援助の対象 5 相談援助における面接技術 6 事例から学ぶ相談援助の援助過程① ―援助開始の留意点― 7 事例から学ぶ相談援助の援助過程② ―面接場面の留意点― 8 事例から学ぶ相談援助の援助過程③ ―面接場面演習― 9 事例から学ぶ相談援助の援助過程④ ―アセスメントを学ぶ― 10 事例から学ぶ相談援助の援助過程⑤ ―アセスメントを行う― 11 事例から学ぶ相談援助の援助過程⑥ ―援助計画を学ぶ― 12 事例から学ぶ相談援助の援助過程⑦ ―援助計画を考える― 13 事例から学ぶ相談援助の援助過程⑧ ―援助実施・評価・終結― 14 相談援助における関係機関との協働、多様な専門職との連携 15 相談援助における社会資源の活用や調整、開発				
成績評価 方法	ふりかえりシート・授業態度（関心・意欲・態度・技能）50%、 定期試験（知識・理解・思考・判断・表現）50%			
テキストおよび 参考文献	笠師千恵・小橋明子 著「相談援助・保育相談支援」中山書店			
メッセージ など	毎回、テキストを持参すること。そして、資料を配布予定であるので、資料を保管するためのクリアファイル等を用意することが望ましい。 保育士証：必修科目			

授業科目		対象学科・専攻	年次	期別
児童家庭福祉 Child and Family Welfare		児童教育学科 幼児教育学専攻	1年次	前期
講義・演習・実技・ 実習・実験	単位数	卒業認定	担当教員	
講義	2	必修	岩城 淳	
概要				
<p>児童家庭福祉の意義や役割、児童家庭福祉関係法制度と児童家庭福祉サービスを理解するとともに、保育士として子育て支援に関わる際に、児童家庭福祉サービスを活用できることをねらいとし、保育士に必要な知識や技術を解説する。</p>				
到達目標				
<p>(1) 児童家庭福祉の歴史、意義、理念について説明することができる。  (2) 児童家庭福祉の法制度、行政組織、児童福祉施設とその従事者の役割について説明できる。  (3) 児童家庭福祉の今日的課題に対して、自分の考えや意見を述べるすることができる。</p>				
授業内容とすすめ方				
<ol style="list-style-type: none"> <li>1 現代社会と児童家庭福祉 –オリエンテーション–</li> <li>2 児童家庭福祉の理念と概念</li> <li>3 児童福祉の歴史① –日本の場合–</li> <li>4 児童福祉の歴史② –諸外国の場合–</li> <li>5 児童家庭福祉と保育</li> <li>6 児童家庭福祉の制度と法体系</li> <li>7 児童家庭福祉の行政組織</li> <li>8 児童福祉施設等について</li> <li>9 児童福祉施設等で働く人びと</li> <li>10 児童家庭福祉の現状と課題① –子育て支援サービス–</li> <li>11 児童家庭福祉の現状と課題② –母子保健と児童の健全育成–</li> <li>12 児童家庭福祉の現状と課題③ –児童虐待・ドメスティックバイオレンスへの対応–</li> <li>13 児童家庭福祉の現状と課題④ –社会的養護–</li> <li>14 児童家庭福祉の現状と課題⑤ –障がいのある児童への対応–</li> <li>15 これからの児童家庭福祉</li> </ol>				
成績評価 方 法	ふりかえりシート・演習態度（関心・意欲・態度・技能）50%、 定期試験（知識・理解・思考・判断・表現）50%			
テキストおよび 参 考 文 献	配布資料			
メ ッ セ ー ジ な ど	<p>毎回、A4 サイズの資料を配布予定であるので、資料を保管するためのクリアファイル等を用意することが望ましいです。基本的には講義形式で行いますが、施設見学、視聴覚資料の活用、ディスカッションの場を随時設け、学びを深めていきたいと思っております。</p> <p>保育士証：必修科目</p>			

授業科目		対象学科・専攻	年次	期別
社会的養護Ⅱ Social Care Ⅱ		児童教育学科 幼児教育学専攻	2年次	前期
講義・演習・実技・ 実習・実験	単位数	卒業認定	担当教員	
講義	2	選択	井原 貴美	
概要				
<p>前半は、児童福祉、そして児童福祉施設の歴史と現状を知り、児童養護施設の諸問題と役割について考える。</p> <p>後半は、自分で施設をつくってみることで、児童福祉法について理解し、また、子どもの生活に視点をおいて、子どもの支援を考えていく。</p>				
到達目標				
<p>(1) 子どもの生活に視点をおいた支援を考えるため、自分で施設づくりに取り組み、自分の考えた施設を説明することができる。</p> <p>(2) 施設づくりの際、疑問点については積極的に尋ねたり調べたりし、意欲を持って資料を作成する。</p> <p>(3) 施設づくりの資料は、工夫し、丁寧に作る。また、提出期限を守る。</p>				
授業内容とすすめ方				
<ol style="list-style-type: none"> <li>1 オリエンテーション・社会的養護の概要</li> <li>2 児童福祉の歴史・児童養護の歴史</li> <li>3 児童福祉法・子どもの権利条約・児童憲章</li> <li>4 児童養護施設の諸問題と社会的役割</li> <li>5 施設見学 ー児童養護施設の見学ー</li> <li>6 施設見学 ーその他の施設または機関の見学ー</li> <li>7 施設づくり① ー施設の種別、名称、所在地、定員ー</li> <li>8 施設づくり② ー児童福祉法、最低基準ー</li> <li>9 施設づくり③ ー児童福祉法、最低基準ー</li> <li>10 施設づくり④ ー基本理念、目標ー</li> <li>11 施設づくり⑤ ー職員数、勤務表づくりー</li> <li>12 施設づくり⑥ ー一日の生活の流れ、年間行事ー</li> <li>13 施設づくり⑦ ー設備ー</li> <li>14 施設づくり⑧ ー間取りー</li> <li>15 施設づくり⑨ ー発表ー</li> </ol>				
成績評価 方 法	毎回の授業感想レポート及び授業態度（関心・意欲・態度）20%、レポート（思考力・表現力）30%、課題提出（知識・理解・思考力）50%			
テキストおよび 参 考 文 献	講義中に適宜指示 参考文献：児童福祉六法			
メ ッ セ ー ジ な ど	保育士証：選択必修科目			

授業科目		対象学科・専攻	年次	期別
保育相談支援 Support for Child Care Consultation		児童教育学科 幼児教育学専攻	2年次	前期
講義・演習・実技・ 実習・実験	単位数	卒業認定	担当教員	
演習	1	選択	梅田 美穂	
概要				
<p>保育現場や地域における相談支援の理論や意義、方法とその具体的展開について解説する。相談支援において必要な方法や技術を理解し、保育者が行う子育てにおける援助役割への理解を深める。</p>				
到達目標				
<p>(1) 相談支援の意義を説明することができる。  (2) 相談支援を行うときに必要な方法を具体的に述べることができる。  (3) 保育者が抱える課題について主眼的に考え、協議することができる。</p>				
授業内容とすすめ方				
<ol style="list-style-type: none"> <li>1 オリエンテーション(授業内容及び進め方・基本的な心構え)</li> <li>2 保育相談支援の意義</li> <li>3 保育士の専門性を生かした相談支援</li> <li>4 子どもの成長の共有</li> <li>5 保育者支援の内容</li> <li>6 保育者が行う相談支援</li> <li>7 保護者の養育力の向上に資する支援</li> <li>8 相談支援の実際 ①保護者に対する指導</li> <li>9 相談支援の実際 ②保護者支援の内容</li> <li>10 地域における保育所の役割</li> <li>11 社会資源の活用と関係機関との連携</li> <li>12 支援の計画・記録の方法</li> <li>13 支援の評価・カンファレンス</li> <li>14 特別な支援を要する家庭への支援</li> <li>15 児童福祉施設における相談支援の実際</li> </ol>				
成績評価 方 法	講義中の発表・感想レポート（関心・意欲・態度）50%、 レポート（知識・思考力・表現力）50%			
テキストおよび 参 考 文 献	その都度提示			
メ ッ セ ー ジ な ど	<p>現代では保育や子ども・子育てにかかわる施設が地域の子育て支援の中心を担い、保育者が子育て等の相談支援を行うことも増えています。「子どもをともに育む」ということはどのようなことか一緒に考えてみませんか。  保育士証：必修科目</p>			

授業科目		対象学科・専攻	年次	期別
保育実習指導 I Study of Practical Training of Nursing I		児童教育学科 幼児教育学専攻	1年次	通年
講義・演習・実技・ 実習・実験	単位数	卒業認定	担当教員	
演習	2	選択	中津 愛子・ 梅田 美穂・鄭 暁林	
概要				
保育実習生としての基本的態度の形成、実習に必要な事前の準備や学習について、演習形式で行う。				
到達目標				
(1) 実習生としての基本的態度や心構えを身に付ける。 (2) 保育実習の意義と目的を理解し、実習に必要な準備を行うことができる。 (3) 子どもや利用者の方々の人権とプライバシーの保護及び守秘義務について理解するとともに、保育現場の見学・観察を通して、子どもや利用者の方々への理解を深める。				
授業内容とすすめ方				
<b>【前期】</b> 1 保育士の仕事について 2 保育実習の意義と目的、実習概要 3 保育実践の模擬 4 保育者に必要な会話表現 5 保育者としての基本的態度（服装・行動） 6 保育者としての基本的態度（言葉遣い） 7 プライバシーの保護及び守秘義務 8 保育教材の制作① 9 保育教材の制作② 10 絵本の読み聞かせ・紙芝居の演じ方 11 絵本の読み聞かせ・紙芝居の実演練習 12 絵本の読み聞かせ・紙芝居の実演 13 見学観察実習の心得 14 附属幼稚園の見学観察実習 15 見学実習の反省・まとめ		<b>【後期】</b> 1 保育所保育指針・部分保育の準備 2 保育実習日誌の書き方 3 附属幼稚園における部分保育の実践 4 附属幼稚園における部分保育の反省 5 実習先への電話のかけ方 附属幼稚園における部分保育のまとめ 6 保育所見学観察実習の事前 オリエンテーションについて 7 保育実習 I（施設）の必要書類の記入 8 見学観察実習の先輩の話 9 見学観察実習の心得、事前指導 10 施設見学観察実習 11 保育所見学観察実習 12 保育実習 I（施設）日誌の記入 事前オリエンテーションについて 13 保育実習日誌の書き方・お礼状の書き方 14 保育実習 I（施設）の先輩の話 15 保育実習 I（施設）の心得・手続き確認 事前指導		
成績評価 方 法	授業の取り組み（関心・意欲・態度）30%、実習準備の遂行力 20%、見学実習（意欲・態度・理解・判断力・表現・技能）30%、レポート（知識・理解・思考力）15%、名札制作（技能）5%			
テキストおよび 参 考 文 献	テキストとして配布：「保育（保育所・施設）実習の手引き」山口短期大学			
メ ッ セ ー ジ な ど	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育実習の事前事後指導にあたる科目であり、保育実習を受ける学生は必ず受講しなければならない。</li> <li>・提出物の期限が守られない場合、実習を受けられなくなるので注意をすること。</li> <li>・保育士証：必修科目</li> </ul>			

授業科目		対象学科・専攻	年次	期別
保育実習指導Ⅱ Study of Practical Training of Nursing Ⅱ		児童教育学科 幼児教育学専攻	2年次	前期
講義・演習・実技・ 実習・実験	単位数	卒業認定	担当教員	
演習	1	選択	中津 愛子・鄭 暁林	
概要				
保育実習Ⅰでの学びを深め、保育士としての実践力を養うために、子ども理解、指導計画の立案、保育実践について演習形式で授業を行う。				
到達目標				
(1) 保育実習Ⅰを踏まえた実習の意義と目的を理解し、すでに学んだ教科の内容と関連付けて、子どもの発達に応じた保育内容を考え、実践する力を養う。 (2) 保育観察を通して子ども理解を深め、適切に記録することができる。 (3) 保育の計画、環境構成、集団と個に応じた援助の力を養う。 (4) 実習事後指導を通して、保育に関する新たな課題を明確にする。				
授業内容とすすめ方				
1 実習の意義と目的、実習概要の説明、保育所実習の手続き 2 子ども理解のための保育観察・保育記録 3 実習日誌の書き方、実習生プロフィールの記入 4 子どもの最善の利益を考慮した保育 5 子どもの発達や生活に即した保育内容の検討 6 具体的なねらいと内容の設定・指導計画の立案 7 環境構成、保育教材の作成 8 模擬保育の実践 ―集団と個に応じた保育者の援助の検討― 9 幼児クラスでの保育実践 10 保育実践の振り返り・新たな指導計画の作成、実習に関する連絡・手続き 11 実習先に提出する書類の確認・日誌の確認 12 実習にあたって（各自のねらいの明確化）、実習に関する諸連絡 13 実習事前調査、実習の手続き確認 14 実習事前面談 15 保育実習Ⅱを終えて（実習の総括・自己評価・新たな課題の明確化）				
成績評価 方 法	授業の取り組み（関心・意欲・態度）30%、実習に取り組む態度（態度・表現・技能）20%、レポート・指導案作成（知識・理解・思考・判断力・表現力）50%			
テキストおよび 参 考 文 献	テキストとして配布：「保育（保育所・施設）実習の手引き」山口短期大学			
メ ッ セ ー ジ な る	・ 保育実習の事前事後指導にあたる科目であり、平成30年8月に保育実習Ⅱを受ける学生は必ず受講しなければならない。 ・ 提出物の期限が守られない場合、実習を受けられなくなるので注意をすること ・ 保育士証：選択必修科目			

授業科目		対象学科・専攻	年次	期別
保育実習指導Ⅲ Study of Practical Training of Nursing Ⅲ		児童教育学科 幼児教育学専攻	2年次	前期
講義・演習・実技・ 実習・実験	単位数	卒業認定	担当教員	
演習	1	選択	梅田 美穂	
概要				
保育実習Ⅰでの学びをさらに深め、保育士としての実践力を養い、施設実習に向けた事前学習や実習後の反省について、演習形式で行う。				
到達目標				
(1) 子どもの発達や対象者の特性にあわせた保育内容・養護内容を説明することができる。 (2) 指導案を書くことができる。 (3) 保育教材を準備することができる。				
授業内容とすすめ方				
<ol style="list-style-type: none"> <li>1 実習の意義と目的、実習概要の説明、実習の手続きについて</li> <li>2 施設における保育実践について、援助計画の立案</li> <li>3 実習日誌の書き方、実習生プロフィールの記入</li> <li>4 施設における保育実践（言葉）</li> <li>5 施設における保育実践（言葉）</li> <li>6 施設における保育実践（手遊び・指遊び）</li> <li>7 施設における保育実践（音楽）</li> <li>8 施設における保育実践（造形）</li> <li>9 施設における保育実践（造形）</li> <li>10 実習に関する連絡・手続き</li> <li>11 実習先に提出する書類の確認・日誌の確認</li> <li>12 保育実習Ⅲの事前指導（実習課題の明確化）、実習に関する諸連絡</li> <li>13 実習事前調査、保育実習Ⅲの手続き確認</li> <li>14 保育実習Ⅲ事前面談</li> <li>15 保育実習Ⅲの事後指導（実習後の反省・考察）</li> </ol>				
成績評価 方法	授業の取り組み（関心・意欲・態度）30%、実技に取り組む態度（態度・技能・表現）20%、レポート（知識・理解・思考・判断）50%			
テキストおよび 参考文献	テキスト：「保育（保育所・施設）実習の手引き」山口短期大学			
メッセージ など	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育実習Ⅲ（施設）の事前事後指導にあたる科目であり、保育実習Ⅲを受ける学生は必ず受講しなければならない。</li> <li>・提出物の期限が守られない場合、実習を受けられなくなるので注意をすること。</li> <li>・保育士証：選択必修科目</li> </ul>			

授業科目		対象学科・専攻	年次	期別
保育実習 I Practical Training in Nursery School I		児童教育学科 幼児教育学専攻	1年次 2年次	1年次後期 2年次前期
講義・演習・実技・ 実習・実験	単位数	卒業認定	担当教員	
実習	4	選択	中津 愛子・ 梅田 美穂・鄭 暁林	
概要				
<p>保育所や社会福祉施設（居住型施設）で実習を行い、子どもや利用者への理解を深めるとともに、施設の役割と機能、保育士の職務内容を理解する。</p>				
到達目標				
<p>(1) 保育所と施設の役割を説明することができる。  (2) 保育士の援助について説明することができる。  (3) 実習日誌を書くことができる。</p>				
授業内容とすすめ方				
<p>1 実習施設について理解する。  2 保育所・施設の一日の流れを理解する。  3 子どもや施設利用児・者の実態に触れ、理解を深める。  4 指導計画、援助計画を理解する。  5 保育技術、援助技術を習得する。  6 保育士の役割と職業倫理、他の職員との連携について理解する。  7 自らの児童観、保育観を高め、現代の家族や社会への理解を深める。  8 安全、および疾病予防への配慮について学ぶ。</p> <p>※実習時期  1年次2月・3月に施設での実習を行う。  2年次7月に保育所での実習を行う。</p> <p>※実習先  施設・保育所、ともに学校が指定する。</p> <p>※その他  実習先で事前オリエンテーションを受ける必要がある。事前準備として、検便、健康診断、インフルエンザ予防接種、麻疹・風疹抗体検査などが必要である。</p>				
成績評価 方 法	実習評価（関心・意欲・態度・知識・理解・思考力・判断力）40%、日誌評価（表現・技能）40%、実習事後指導（意欲・態度）20%			
テキストおよび 参 考 文 献	テキストとして配布：「保育（保育所・施設）実習の手引き」山口短期大学			
メ ッ セ ー ジ な ど	保育士証：必修科目			



授業科目		対象学科・専攻	年次	期別
保育実習Ⅱ Practical Training in Nursery School Ⅱ		児童教育学科 幼児教育学専攻	2年次	前期(集中)
講義・演習・実技・ 実習・実験	単位数	卒業認定	担当教員	
実習	2	選択	中津 愛子・鄭 暁林	
概要				
保育実習での学びをさらに深め、保育士としての実践力を高めるため保育所で10日間の実習を行う。				
到達目標				
(1) 子どもの発達に応じた保育活動が実践できる。 (2) 指導計画を立案することができる。 (3) 保育士の職業倫理を具体的に述べるができる。				
授業内容とすすめ方				
1 保育全般に参加し、保育技術を学ぶ。 2 子どもの発達の個人差に応じた援助の方法を学ぶ。 3 指導計画を立案し、保育活動を行う。 4 子どもの家族とのコミュニケーションの方法を学ぶ。 5 地域社会に対する理解を深め、連携の方法について学ぶ。 6 子どもの最善の利益に関わる配慮について学ぶ。 7 保育士の職業倫理を理解する。 8 現在の保育所、保育士に求められる資質や知識、技能に照らし合わせて自己の課題を明確にする。  ※実習時期 2年次8月に保育所での実習を10日間行う。 ※実習先 各自が依頼した保育所。 ※その他 実習前に事前オリエンテーションを受ける必要がある。 実習先に、検便、麻疹・風疹抗体検査証明書などの提出が必要である。				
成績評価 方 法	実習評価(関心・意欲・態度・知識・理解・思考力・判断力)40%、日誌評価(表現・技能)40%、実習事後指導(意欲・態度)20%			
テキストおよび 参 考 文 献	テキストとして配布:「保育(保育所・施設)実習の手引き」山口短期大学			
メ ッ セ ー ジ な ど	・保育実習Ⅰ(施設・保育所)を行った上で、保育所での実習を希望する学生の必修科目である。 ・保育士証:選択必修科目			

授業科目	対象学科・専攻	年次	期別
保育実習Ⅲ Practical Training in Nursery School Ⅲ	児童教育学科 幼児教育学専攻	2年次	前期(集中)
講義・演習・実技・ 実習・実験	単位数	卒業認定	担当教員
実習	2	選択	梅田 美穂
概要			
保育実習での学びをさらに深め、保育士としての実践力を高めるために、児童福祉施設等で10日間の実習を行う。			
到達目標			
(1) 対象にあわせた援助を行うことができる。 (2) 実習日誌を書くことができる。 (3) 保育士の職業倫理を説明することができる。			
授業内容とすすめ方			
<ol style="list-style-type: none"> <li>1 養護全般に参加し、養護技術を学ぶ。</li> <li>2 子どもの発達の個人差に応じた援助や生活環境にともなう子どものニーズに即した援助の実際を学ぶ。</li> <li>3 援助計画を立案し、実践する。</li> <li>4 子どもの家族とのコミュニケーションの方法を学ぶ。</li> <li>5 地域における他の施設の役割を理解し、連携の方法について学ぶ。</li> <li>6 子どもの最善の利益を具体化する方法について学ぶ。</li> <li>7 保育士の職業倫理を理解する。</li> <li>8 児童福祉施設等の保育士に求められる資質や知識、技能に照らし合わせて自己の課題を明確にする。</li> </ol> <p>※実習時期 2年次8月に社会福祉施設での実習を10日間(通勤の場合は12日間)行う。</p> <p>※実習先 各自が依頼した施設。 居住型施設のほかに、社会福祉施設諸法令に基づき設置される施設も含まれる。</p> <p>※その他 実習先で事前オリエンテーションを受ける必要がある。事前準備として、検便、麻疹・風疹抗体検査が必要である。</p>			
成績評価方法	実習評価(知識・理解・思考・判断・関心・技能)40%、日誌評価(表現)40%、実習事後指導(意欲・態度)20%		
テキストおよび参考文献	「保育(保育所・施設)実習の手引き」山口短期大学		
メッセージなど	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育実習Ⅰ(施設・保育所)を終えた後に施設での実習を希望する学生の必修科目である。</li> <li>・保育士証：選択必修科目</li> </ul>		

授業科目		対象学科・専攻	年次	期別
子どもの保健 I Child Health I		児童教育学科 幼児教育学専攻	1年次	通年
講義・演習・実技・ 実習・実験	単位数	卒業認定	担当教員	
講義	4	必修	安富 雅恵	
概要				
<p>専門職として子どもに関わるには、保健に関する知恵と実践が必要である。健康を守るだけでなく、健康を増進する積極的な活動でなければならない。その為には、各発達段階における健全な心身の発育、発達過程を習得することが必須となる。</p> <p>また、少子化の進む今日における子どもを取り巻く環境を踏まえ、健康問題や課題について、その現状について学ぶと共に、保育現場と家庭、専門機関、地域との連携についても学習する。</p>				
到達目標				
<p>(1) 子どもの心身の健康増進を図る保健活動の意義について述べることができる。</p> <p>(2) 子どもの身体発育、生理機能、運動機能及び精神機能の発達について理解することができ、生命の尊さを実感できる。</p> <p>(3) 子どもの健康状態の把握と主な病気の特徴及び予防、対応についての基礎知識を述べるができる。</p>				
授業内容とすすめ方				
<b>【前期】</b> 1 オリエンテーション (学習の目的・意義について等) 2 子どもの健康と保健の意義 地域における保健活動と児童虐待防止 3 子どもの発育、発達について 4 子どもの発育、発達(発育、発達の経過と速度)、発育の原則 5 各発育期の身体発育 6 生理機能の発達(呼吸器) 7 生理機能の発達(循環器) 8 生理機能の発達(免疫機能) 9 生理機能の発達(消化機能、尿排泄機能) 10 生理機能の発達(水分代謝、体温調節) 11 生理機能の発達(内分泌機能、睡眠・覚醒) 12 生理機能の発達(感覚機能) 13 生理機能の発達(神経・精神機能、情緒等) 14 小児の主な病気(感染症) 15 小児の主な病気(先天異常)		<b>【後期】</b> 1 小児の主な病気(アレルギー性疾患等) 2 小児の主な病気(消化器・呼吸器疾患) 3 小児の主な病気(循環器疾患) 4 小児の主な病気(血液疾患) 5 小児の主な病気(悪性腫瘍) 6 小児の主な病気(神経系疾患) 7 小児の主な病気(腎及び泌尿生殖器疾患) 8 小児の主な病気(皮膚疾患) 9 小児の主な病気(眼・耳の疾患) 10 小児の主な病気(整形外科の疾患) 11 小児の主な病気(内分泌・代謝疾患) 12 乳幼児突然死症候群、子どもの生活環境と精神保健 13 子どもの心の健康とその課題 14 環境と衛生管理・安全管理 15 健康及び安全の実施体制、母子保健対策と保育		
成績評価 方 法	学習態度(関心・意欲・態度)10%、レポート・小テスト(思考力・表現力・判断力)20%、定期試験(知識・理解・思考力・判断力)70%			
テキストおよび 参 考 文 献	テキスト:「子どもの保健I」佐藤益子/中根淳子編著 ななみ書房 参考文献:「幼稚園教育要領」「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」 必要時資料配布			
メ ッ セ ー ジ な ど	子どもの心と体の健康を育むことは、保育の原点である。なるべくニュース、統計等に目を向け、子どもを取り巻く環境や子どもの命について向き合ってください。 保育士証:必修科目			

授業科目		対象学科・専攻	年次	期別
子どもの保健Ⅱ Child Health II		児童教育学科 幼児教育学専攻	2年次	前期
講義・演習・実技・ 実習・実験	単位数	卒業認定	担当教員	
演習	1	選択	安富 雅恵	
概要				
<p>子どもを健康で安全に保育するという保育所保育指針を踏まえて、子どもの発育・発達状況や健康状態を把握し、積極的に健康の保持増進を図り、疾病や事故の予防・対処に向けての視点を養う。その為には、子どもの保健Ⅰで習得した知識を基礎に、保育実践に必要な保健活動を具体的に学び、子どもの保健の基本的援助能力を養うことを目的とする。</p>				
到達目標				
<p>(1) 子どもと健康の意義を理解し、地域及び保育の場における保健活動の内容について述べる事が出来る。</p> <p>(2) 子どもを取り巻く環境と子どもの心とからだの健康課題を考察し、発達段階に応じた保健活動を展開する基本について述べる事ができる。</p> <p>(3) 子どもの健康についての個別性を理解し、疾病の適切な対応・事故防止など健康安全教育と管理のあり方や方法について述べる事ができる。</p>				
授業内容とすすめ方				
<ol style="list-style-type: none"> <li>1 保健活動の計画と評価（保育における保健活動）</li> <li>2 保健計画の作成と活用、保健活動の記録と自己評価</li> <li>3 子どもの保健に関する個別対応と子どもの集団全体の健康と安全・衛生管理</li> <li>4 子どもの保健と環境（保健における養護と教育の一体性）</li> <li>5 子どもの健康増進と保育の環境、子どもの生活習慣と心身の健康</li> <li>6 子どもの発達援助と保健活動</li> <li>7 子どもの疾病と適切な対応（感染症の予防と対策）</li> <li>8 個別的な配慮を必要とする子どもへの対応（熱性痙攣、てんかん他）</li> <li>9 個別的な配慮を必要とする子どもへの対応（乳児の病気、障害のある子どもへの対応）</li> <li>10 事故防止および健康管理・安全管理（組織的取り組み）</li> <li>11 けがや急な病気への対応の基本</li> <li>12 子どもに起きやすい事故の応急処置</li> <li>13 子どもに起こりやすい症状とケア</li> <li>14 災害への備えと危機管理（危機管理、非常災害などへの取り組みの実際等）</li> <li>15 心とからだの健康問題と地域保健活動 （子どもの養育環境と心の健康問題、心とからだの健康づくりと地域保健活動）</li> </ol>				
成績評価 方 法	学習態度（関心・意欲・態度）10%、定期試験（知識・理解・思考力・判断力）60%、演習や提出物（意欲・態度・思考力・表現力・判断力）30%			
テキストおよび 参 考 文 献	<p>テキスト：「子どもの保健Ⅱ」佐藤益子/中根淳子編著 ななみ書房 参考文献：「幼稚園教育要領」「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」 1年次使用のテキスト「子どもの保健Ⅰ」、必要時資料配布</p>			
メ ッ セ ー ジ な ど	<p>子どもの保健の成果は実践を通して得られるものである。健康という視点から子どもを取り巻く環境や現状・課題について関心を高めるためには、授業前にテキストの該当箇所を予習して臨むこと。 保育士証：必修科目</p>			

授業科目		対象学科・専攻	年次	期別
子どもの食と栄養 Child Dietary Life and Nutrition		児童教育学科 幼児教育学専攻	2年次	通年
講義・演習・実技・ 実習・実験	単位数	卒業認定	担当教員	
演習	2	必修	高橋 育代	
概要				
<p>栄養に関する基礎知識をもとに、子どもの発育・発達と栄養や食生活、疾患での対応食に関して理解する。調乳・離乳食・幼児食の調理演習を実施する。子どもの食生活全般への働きかけや、栄養教育等を演習を通して学ぶ。</p>				
到達目標				
<p>(1) 子どもの発育・発達に適切な栄養を説明できる。  (2) 調乳・離乳食・幼児食にふさわしい食品と調理形態に触れる。  (3) 幼児期食生活上での問題と対応から健康な食生活を工夫する。</p>				
授業内容とすすめ方				
<ul style="list-style-type: none"> <li>1 子どもの栄養の特徴・重要性</li> <li>2 栄養に関する基礎知識① －食品群の理解－</li> <li>3 栄養に関する基礎知識② －栄養バランスガイド－</li> <li>4 栄養に関する基礎知識③ －栄養素の機能－</li> <li>5 栄養に関する基礎知識④ －食事摂取基準の理解－</li> <li>6 妊娠・授乳期の栄養</li> <li>7 母乳栄養・乳汁栄養</li> <li>8 調乳の演習</li> <li>9 離乳の意義と基本</li> <li>10 調理演習－離乳食</li> <li>11 乳児期の発達と離乳の進め方</li> <li>12 食育と子育て支援</li> <li>13 調理実習－幼児と一緒に作る「おやつ」</li> <li>14 児童福祉施設における食生活</li> <li>15 障がいをもつ子どもの食生活</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>1 幼児期の食生活</li> <li>2 幼児期食生活上での問題と対応①－偏食－</li> <li>3 調理実習－幼児食－</li> <li>4 食事にかかる時間・弁当・給食</li> <li>5 問題と対応②－間食の意義と現状－</li> <li>6 咀嚼と消化機能の発達</li> <li>7 問題と対応③－箸の正しい持ち方演習－</li> <li>8 子どもの疾病の特徴と食生活① －発熱と食生活－</li> <li>9 子どもの疾病の特徴と食生活② －下痢・便秘等と食生活－</li> <li>10 子どもの疾病の特徴と食生活③ －食物アレルギーと食生活－</li> <li>11 子どもの疾病の特徴と食生活④ －糖尿病や生活習慣病と食生活－</li> <li>12 栄養教育の実践</li> <li>13 献立作成</li> <li>14 栄養量の算出</li> <li>15 世界の子どもの食生活</li> </ul>		
成績評価 方 法	定期試験（知識・理解）60%、取り組み姿勢（関心・意欲）30%、 課題研究（表現）10%			
テキストおよび 参 考 文 献	参考文献：堤ちはる・土井正子編著「子どもの食と栄養（萌文書林）」他、 「七訂食品成分表 2015年版」他 を資料として配布			
メ ッ セ ー ジ な ど	子どもの食を知ることによって自分の食生活にも役立つ科目です。 保育士証：必修科目			

授業科目		対象学科・専攻	年次	期別
乳児保育 Early Childhood Care		児童教育学科 幼児教育学専攻	1年次 2年次	1年次後期 2年次前期
講義・演習・実技・ 実習・実験	単位数	卒業認定	担当教員	
演習	2	選択	中安 妙子	
概要				
<p>保育所 乳児院 幼保連携型認定こども園における3歳未満児について、その概念と意義を把握し、制度と現状について学習する。          未満児保育についての知識・技能・保育実践事例を通して具体的に学習する。</p>				
到達目標				
<p>(1) 乳幼児の発達、保育内容を説明することができる。          (2) 各年齢に応じた子どもへのかかわりを説明することができる。          (3) 各年齢に応じた具体的な環境設定・配慮点について討論することができる。</p>				
授業内容とすすめ方				
<b>【1年次後期】</b> 1 ガイダンス 2 胎生期と乳児保育の概要 3 乳児保育の理念と意義 4 保育所乳児院における乳児保育の現状と課題 5 各年齢別発達と保育内容 6 (1) 6ヵ月未満の保育 出生 生後1ヵ月～6ヵ月未満 7 (2) 6ヵ月から1歳3ヵ月未満の保育 6ヵ月～1歳 8 (2) 6ヵ月から1歳3ヵ月未満の保育 1歳～ 9 (3) 1歳3ヵ月から2歳未満の保育 1歳前半 10 (3) 1歳3ヵ月から2歳未満の保育 1歳後半 11 (4) 2歳の保育 2歳前半 12 (4) 2歳の保育 2歳後半 13 乳児保育の環境 14 子どもの病気と健康 15 まとめ		<b>【2年次前期】</b> 1 2年次の学習計画 2 乳児保育のポイントと実際 3 0歳児保育の実際（各月齢事例 保育ビデオ） 4 1歳児保育の実際（事例 保育ビデオ） 5 2歳児保育の実際（事例 保育ビデオ） 6 乳児保育の養護の実際（実技演習） 7 月齢年齢別遊び おもちゃ作り 発表 8 課題研究発表 9 課題研究発表 10 乳児保育における保護者との連携 11 乳児保育の計画と記録と評価 12 各年齢別設定指導案 発表 問題点 13 乳児保育における保育者の役割 14 乳児保育の今後の課題 実習前注意点 ポイント 15 まとめ 保育実習Ⅱを終えて 反省 評価		
成績評価 方 法	毎回の授業への参加・レポート・プリント・製作品（関心・意欲・態度）50%、 定期試験（知識・理解）50%			
テキストおよび 参 考 文 献	乳児保育、早川悦子・池田りな編著、青踏社 資料プリントは適時配布			
メ ッ セ ー ジ な	保育者としての基本的知識と現場の思いを少しでも伝え、自分なりの保育者像を 一緒につくりましょう。 保育士証：必修科目			

授業科目		対象学科・専攻	年次	期別
家庭支援論 Study on Family Support		児童教育学科 幼児教育学専攻	1年次	前期
講義・演習・実技・ 実習・実験	単位数	卒業認定	担当教員	
講義	2	選択	今川 晋平	
概要				
<p>本講義では、子どもが育つ環境としての家族が果たす役割や機能について基礎的な理解を深め、家庭の支援における子ども達の発達段階を理解し、少子高齢化や核家族化などの家庭を取り巻く社会状況と子育てのための支援体制の現状や問題点等、保育に携わる者に求められる基本的知識を学ぶ。</p>				
到達目標				
<p>(1) 家庭や育児についての支援の必要性について説明できる。  (2) 家庭支援における様々な諸問題についての現状を説明することができる。  (3) 支援体制等の現状や問題に対して、自分の考えや意見を述べることができる。</p>				
授業内容とすすめ方				
<ol style="list-style-type: none"> <li>1 オリエンテーション</li> <li>2 家庭の意義と機能：家族とは？家庭とは？世帯とは？</li> <li>3 家庭支援の意義と役割　－少子化の意味するもの－</li> <li>4 現代家庭の人間関係　－いまどきの子どもたち－</li> <li>5 家庭を取り巻く社会的状況</li> <li>6 子育て家庭支援の政策と制度と現状</li> <li>7 特別なニーズを持つ家族と援助①育てにくさや障害のある子ども</li> <li>8 特別なニーズを持つ家族と援助②児童虐待</li> <li>9 特別なニーズを持つ家族と援助③</li> <li>10 保育現場でのソーシャルワーク</li> <li>11 子どもの食育　－キレル子どもの食生活－</li> <li>12 子どもの発達段階としつけ　－体力・知力は遊びから－</li> <li>13 保育者担う社会福祉援助技術のあり方</li> <li>14 演習ワークショップ①　－課題解決のための方策討議－</li> <li>15 演習ワークショップ②　－課題のグループ討議とまとめ－</li> </ol>				
成績評価 方 法	<p>授業態度（関心・意欲・態度）25%、  レポート（知識・理解・思考力）25%、  定期試験（知識・理解・思考力・判断力）50%</p>			
テキストおよび 参 考 文 献	<p>金子恵美著、『増補 保育所における家庭支援』、全社協  他、講義時に資料を配布、参考文献はその都度紹介</p>			
メ ッ セ ー ジ な ど	<p>講義中の私語、携帯は慎む。  保育士証：必修科目</p>			

授業科目		対象学科・専攻	年次	期別
障害児保育 Care and Education for Disable Children		児童教育学科 幼児教育学専攻	1年次 2年次	1年次後期 2年次前期
講義・演習・実技・ 実習・実験	単位数	卒業認定	担当教員	
演習	2	選択	中津 愛子	
概要				
障害のある子どもの保育の基本と、障害特性、一人一人の子どもに対する理解、保育における発達援助の方法を学ぶ。				
到達目標				
(1) 障害のある子どもの保育の基本について説明することができる。 (2) 障害特性と子ども理解の方法について具体的に述べるすることができる。 (3) 子どもに応じた保育計画と保育教材を作成することができる。				
授業内容とすすめ方				
<b>【1年次後期】</b> 1 障害の概念と障害児保育の歴史 2 障害のある子どもに対する保育の基本 3 知的障害①－障害特性の理解－ 4 知的障害②－発達援助－ 5 自閉症①－障害特性の理解－ 6 自閉症②－発達援助－ 7 注意欠陥多動性障害①－障害特性の理解－ 8 注意欠陥多動性障害②－発達援助－ 9 学習障害①－障害特性の理解－ 10 学習障害②－発達援助－ 11 肢体不自由①－障害特性の理解－ 12 肢体不自由②－発達援助－ 13 聴覚障害①－障害特性の理解－ 14 聴覚障害②－発達援助－ 15 視覚障害－障害特性・発達援助－		<b>【2年次前期】</b> 1 早期発見と早期療育 2 保育課程に基づく指導計画・環境構成 3 知的障害の子どもに対する保育の実際 4 自閉症の子どもに対する保育の実際 5 注意欠陥多動性障害の子どもに対する保育の実際 6 学習障害の子どもに対する保育の実際 7 肢体不自由の子どもに対する保育の実際 8 聴覚障害の子どもに対する保育の実際 9 視覚障害の子どもに対する保育の実際 10 重複障害の子どもに対する保育の実際 11 保育記録と評価の実際 12 障害のある子どもの家族に対する支援 13 発達支援の制度 14 小学校・特別支援学校との連携 15 医療・福祉の専門機関との連携		
成績評価 方 法	授業の取り組み（関心・意欲・態度）30%、レポート（知識・理解・思考力・判断力）30%、指導計画の作成（表現）20%、教材作成（表現・技能）20%			
テキストおよび 参 考 文 献	テキスト：水田和江・増田貴人 編著「新障害のある子どもの保育実践」学文社、授業時にプリントも配布			
メ ッ セ ー ジ な ど	教材作成、援助の実際などに必要な物品を事前にお知らせします。 保育士証：必修科目			



授業科目		対象学科・専攻	年次	期別
レクリエーション概論 Introduction to Recreation		全学科	1年次	前期(集中)
講義・演習・実技・ 実習・実験	単位数	卒業認定	担当教員	
講義	2	選択	信田 百合夫	
概要				
<p>多様かつ複雑に変化する社会において、生涯学習の重要性が一層叫ばれるとき、レクリエーションへの社会的・時代的認識が高まる中で、理論に精通した有能な指導者の養成を図る。また、日本レクリエーション協会公認レクリエーション・インストラクターの資格を取得する。</p>				
到達目標				
<p>(1) レクリエーションの意義や歴史について支援できる。  (2) 現代社会とレクリエーション等における課題や、レクリエーション・インストラクターの役割について支援できる。  (3) レクリエーション事業展開・アセスメントに基づいたプログラムの作成ができるように支援できる。</p>				
授業内容とすすめ方				
<ol style="list-style-type: none"> <li>1 レクリエーションとは何か</li> <li>2 レクリエーション運動の歴史とその背景</li> <li>3 レクリエーション運動を支える使命と制度</li> <li>4 レクリエーション組織</li> <li>5 レクリエーション支援とレクリエーション・インストラクターの役割</li> <li>6 ライフスタイルとレクリエーション</li> <li>7 高齢社会の課題とレクリエーション</li> <li>8 高齢者への働きかけ</li> <li>9 少子化の課題とレクリエーション</li> <li>10 少子化への働きかけ</li> <li>11 レクリエーション事業の考え方</li> <li>12 レクリエーション事業の展開とプログラム</li> <li>13 個人のアセスメントに基づいたプログラム</li> <li>14 市民を対象とした事業のつくりかた</li> <li>15 レクリエーション活動の安全管理</li> </ol>				
成績評価 方 法	定期試験(知識・理解・思考)80%、意欲・態度20%			
テキストおよび 参 考 文 献	(財)日本レクリエーション協会 編「レクリエーション支援の基礎」			
メ ッ セ ー ジ な ど	人間としての遊び、レクリエーションの意義や重要性を理解し、「レクリエーション・インストラクター」の資格を取得しましょう。 レクリエーション・インストラクター：必修科目			

授業科目		対象学科・専攻	年次	期別
レクリエーション実技 Practical Skill on Recreation		全学科	1年次	前期(集中)
講義・演習・実技・ 実習・実験	単位数	卒業認定	担当教員	
実技	1	選択	信田 百合夫	
概要				
<p>多様かつ複雑に変化する社会において、生涯学習が一層叫ばれるとき、レクリエーションへの社会的・時代的認識が高まり一般化する中で、レクリエーション実技に精通した人材の養成が必要である。そのためコミュニケーション・スキルを身につけると共に、日本レクリエーション協会公認レクリエーション・インストラクターの資格を取得する。</p>				
到達目標				
<p>(1) コミュニケーション・ワークで必要なホスピタリティについて支援できる。  (2) ホスピタリティトレーニングやアイスブレイキングについて支援できる。  (3) ゲーム・ソング・ダンスの基礎的なものが支援できる。</p>				
授業内容とすすめ方				
<ol style="list-style-type: none"> <li>1 コミュニケーション・ワーク</li> <li>2 レクリエーションにおけるホスピタリティ</li> <li>3 コミュニケーションをとるために必要な態度・行動</li> <li>4 ホスピタリティの示し方</li> <li>5 ホスピタリティトレーニング</li> <li>6 集団の中でのホスピタリティ</li> <li>7 アイスブレイキングの意義</li> <li>8 アイスブレイキングの基礎技術</li> <li>9 アイスブレイキングのプログラミング</li> <li>10 ゲーム① ー数集まり・後出しジャンケン 他ー</li> <li>11 ソング① ーハローハロー・あの青い空のように 他ー</li> <li>12 ダンス① ーチッコカウボーイ・炭坑節・ハブナルヤイン 他ー</li> <li>13 ゲーム② ー木の中のリス 他ー</li> <li>14 ソング② ー世界はひとつ・四季の歌 他ー</li> <li>15 ダンス② ー愛のハーモニー・東京音頭ー</li> </ol>				
成績評価 方	実技試験(技能・表現・意欲)80%、意欲20%			
テキストおよび 参考文献	(財)日本レクリエーション協会 編「レクリエーション支援の基礎」			
メッセー ジ	ホスピタリティを理解し、色々なアイスブレイキングの支援ができ、「レクリエーション・インストラクター」の資格を取得しましょう。 レクリエーション・インストラクター：必修科目			

授業科目		対象学科・専攻	年次	期別
レクリエーション指導者実習 Training for Recreation Leaders		全学科	1年次	前期(集中)
講義・演習・実技・ 実習・実験	単位数	卒業認定	担当教員	
実習	1	選択	信田 百合夫	
概要				
<p>有能な日本レクリエーション協会公認レクリエーション・インストラクターの資格取得に必要なレクリエーション実習は、学外での「教育実習」2/3単位と「事業参加」1/3単位で履修する。但し、事業参加は必修とする。(事業参加3回で1/3単位)</p>				
到達目標				
<p>(1) レクリエーション・インストラクターとして必要な内容について支援できる。  (2) 色々なレクリエーション事業に参加でき、スタッフとして支援できる。</p>				
授業内容とすすめ方				
<p>教育実習</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 教育実習の研究 (小学校・幼稚園全科)</li> <li>・ 教育実習 (実習校・実習園での実習)</li> </ul> <p>事業参加</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 全国一斉「あそびの日」キャンペーン (県内外の市区町村・レクリエーション協会等の事業) 全国的に開催される「あそびの日」のキャンペーンとして、特定の期間に一斉に全国各地の市町村やレクリエーション協会等で実施される事業で、ニュースポーツやウォークラリー等、様々な催しが開催される。 これらの事業に自由な形で参加可能な所へ参加する。</li> <li>・ 県内レクリエーション事業 (県内市・町・レクリエーション協会レクリエーション事業) 県内の市町やレクリエーション協会等で実施されるレクリエーション事業で、ボランティアやスタッフとして自由に参加する。</li> <li>・ 山口県スポーツ・レクリエーションフェスティバル (山口県レクリエーション協会主催事業) 山口県レクリエーション協会の主催で体育の日を中心として、各種のレクリエーション団体が開催するスポーツやレクリエーションに、ボランティアやスタッフとして自由な立場で参加する。</li> </ul>				
成績評価 方	支援技能 80%、意欲・態度 20%			
テキストおよび 参考文献				
メッセー ジ	レクリエーションを多くの人に支援し、自らもすばらしい「レクリエーション・インストラクター」として活躍できるよう資格を取得しましょう レクリエーション・インストラクター：必修科目			

授業科目		対象学科・専攻	年次	期別
保育総合研究 Child Care Synthesis Research		児童教育学科 幼児教育学専攻	2年次	通年
講義・演習・実技・ 実習・実験	単位数	卒業認定	担当教員	
演習	2	必修	中津 愛子・縄田 也千・子安 崇夫・ 梅田 美穂・鄭 暁林・田中 奏子	
概要				
<p>子どもの教育や保育に関する研究課題を自ら見つけ、その課題を解決するための方法を決定・遂行し、その結果について検討し今後の課題を見つけ出す。研究目的、研究方法から、結果、考察に至るまで、担当教員の指導を受けながらテーマごとに進め、その成果を発表し、報告書にまとめる。</p>				
到達目標				
<p>(1) 適切なテーマを決め、発表できるようにまとめることができる。  (2) 各自のテーマに沿った内容で、発表することができる。  (3) 各自が発表した内容で、発表集として原稿をまとめることができる。</p>				
授業内容とすすめ方				
<p>平成29年度は、下記のような内容で行われた。</p> <p><b>【保育】</b>  パネルシアターの制作と実演に関する研究  エプロンシアターの制作と実演に関する研究  0～2歳児の子どものための手作り保育教材の制作  障害のある子どものための手作り保育教材の制作  着脱の発達を促すための手作り保育教材の制作  手袋人形の制作</p> <p><b>【図画工作】</b>  貼り絵の制作  砂絵の制作  リサイクルアート  フェルトで作る人形</p> <p><b>【体育】</b>  劇「泣いた赤鬼」  幼児期の運動遊び ―実習で行った運動遊びの実践からの考察―</p> <p><b>【音楽】</b>  音楽アンサンブルによる音楽ものがたり</p> <p><b>【社会福祉】</b>  発達障害児の支援に関する研究  松江市の施設の現状</p> <p><b>【心理】</b>  幼児の色認識の発達  一人遊びの発達の变化</p>				
成績評価 方 法	毎回の取り組み（意欲）50%、レポート（関心）20%、発表（技術）10%、報告集作成（表現）20%			
テキストおよび 参 考 文 献	自分自身で選択、購入すること			
メ ッ セ ー ジ な ど	2年間で学んだことの集大成となるよう取り組んで欲しいと思います。			

授業科目		対象学科・専攻	年次	期別																														
発達心理学演習 Practice of Developmental Psychology		児童教育学科 幼児教育学専攻	2年次	前期																														
講義・演習・実技・ 実習・実験	単位数	卒業認定	担当教員																															
演習	1	選択	鄭 曉林																															
概要																																		
<p>発達心理学の主要な知見について、どのような方法でその知見が得られたのかを具体的な実験方法を学ぶことによって理解する。実験論文の読み方・レジュメの作り方・発表の仕方を説明する。</p>																																		
到達目標																																		
<p>(1) 発達心理学の主要な理論を説明できる。  (2) 各自が関心のある発達心理学のテーマについて最新の研究動向を理解する。  (3) 自分の意見を他者にわかりやすく・説得的にプレゼンできるようになる。</p>																																		
授業内容とすすめ方																																		
<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 40%;">1 オリエンテーション</td> <td>— 演習の進め方と理解</td> </tr> <tr> <td>2 こころの理解と発達</td> <td>— こころの理論の実験方法</td> </tr> <tr> <td>3 こころの理解と発達</td> <td>— こころの理解成立前後の世界</td> </tr> <tr> <td>4 こころの理解と発達</td> <td>— 演習</td> </tr> <tr> <td>5 思考力の発達</td> <td>— 自己中心性の理解及び実験方法</td> </tr> <tr> <td>6 思考力の発達</td> <td>— 他者視点の理解成立する前後の世界</td> </tr> <tr> <td>7 思考力の発達</td> <td>— 演習</td> </tr> <tr> <td>8 数概念の発達</td> <td>— 数が概念の理論</td> </tr> <tr> <td>9 数概念の発達</td> <td>— 数が概念実験方法</td> </tr> <tr> <td>10 数概念の発達</td> <td>— 演習</td> </tr> <tr> <td>11 発達心理学の諸問題に関する研究事例の発表と討議①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>12 発達心理学の諸問題に関する研究事例の発表と討議②</td> <td></td> </tr> <tr> <td>13 発達心理学の諸問題に関する研究事例の発表と討議③</td> <td></td> </tr> <tr> <td>14 発達心理学の諸問題に関する研究事例の発表と討議④</td> <td></td> </tr> <tr> <td>15 全体のまとめ</td> <td></td> </tr> </table>					1 オリエンテーション	— 演習の進め方と理解	2 こころの理解と発達	— こころの理論の実験方法	3 こころの理解と発達	— こころの理解成立前後の世界	4 こころの理解と発達	— 演習	5 思考力の発達	— 自己中心性の理解及び実験方法	6 思考力の発達	— 他者視点の理解成立する前後の世界	7 思考力の発達	— 演習	8 数概念の発達	— 数が概念の理論	9 数概念の発達	— 数が概念実験方法	10 数概念の発達	— 演習	11 発達心理学の諸問題に関する研究事例の発表と討議①		12 発達心理学の諸問題に関する研究事例の発表と討議②		13 発達心理学の諸問題に関する研究事例の発表と討議③		14 発達心理学の諸問題に関する研究事例の発表と討議④		15 全体のまとめ	
1 オリエンテーション	— 演習の進め方と理解																																	
2 こころの理解と発達	— こころの理論の実験方法																																	
3 こころの理解と発達	— こころの理解成立前後の世界																																	
4 こころの理解と発達	— 演習																																	
5 思考力の発達	— 自己中心性の理解及び実験方法																																	
6 思考力の発達	— 他者視点の理解成立する前後の世界																																	
7 思考力の発達	— 演習																																	
8 数概念の発達	— 数が概念の理論																																	
9 数概念の発達	— 数が概念実験方法																																	
10 数概念の発達	— 演習																																	
11 発達心理学の諸問題に関する研究事例の発表と討議①																																		
12 発達心理学の諸問題に関する研究事例の発表と討議②																																		
13 発達心理学の諸問題に関する研究事例の発表と討議③																																		
14 発達心理学の諸問題に関する研究事例の発表と討議④																																		
15 全体のまとめ																																		
成績評価 方 法	講義中の感想レポート（関心・意欲・態度）30%、発表（知識・理解）70%																																	
テキストおよび 参 考 文 献	「発達心理学」山口短期大学																																	
メ ッ セ ー ジ な ど	<p>子どもを理解するためには、まず、しっかりした行動観察が必要とされます。子どもたちの仲間関係の形成や表現される行動に興味のある方は受講して下さい。  保育士証：選択必修科目</p>																																	

授業科目		対象学科・専攻	年次	期別
情報処理実習 I Information Processing Practice I		児童教育学科 幼児教育学専攻	1年次	前期
講義・演習・実技・ 実習・実験	単位数	卒業認定	担当教員	
実習	1	選択	大上 文典	
概要				
<p>今日、日常生活やあらゆる分野において、情報処理は欠かすことは出来ない。  本授業では、前半は、情報処理とは何か・パソコンの起動・インターネット・ワープロ基本操作等をわかり易く説明し、実践しながら操作方法をマスターしてゆく。  後半は、表の作成を主に授業を行う。目的とする表のレイアウト方法を学び、より良い表のシートを作成してゆく。具体的には自分史シート、表計算表、履歴書等を作成する。</p>				
到達目標				
(1) パソコンの基本的操作を行うことができる。 (2) レイアウトの良い表を作成することができる。 (3) 指導案等作成に活用することができる。				
授業内容とすすめ方				
1 ガイダンス：建学の精神、注意事項等、ファイルの配布・整理等 2 PCの起動・操作方法　ーパスワードー 3 Wordによるテーブル(表)の作成方法 4 表<課題1>の作成 5 表<課題2>の作成 6 表<課題3>『自分史シート』の作成 7 <課題4>『自分史シート』の記入 8 Excelの基本 9 表計算<課題5>の作成 10 表計算<課題6>の作成 11 Wordによる履歴書シートの作成方法 12 履歴書シート<課題7>の作成 13 履歴書の書き方：<課題8>履歴書鉛筆記入 14 <課題9>履歴書ボールペン記入 15 全ファイルの確認・整理・提出、情報処理実習II予告：図形描画				
成績評価 方 法	受講態度（意欲・関心・態度）30% シート作成・提出（理解・思考力・判断力・表現力）70%			
テキストおよび 参 考 文 献	山口短期大学発行 授業用テキスト『情報処理実習I』佐藤和雅著			
メ ッ セ ー ジ な ど	幼稚園教諭二種免許：必修科目			

授業科目		対象学科・専攻	年次	期別
保育内容総論 Foundations of Contents of Child Care		児童教育学科 幼児教育学専攻	2年次	前期
講義・演習・実技・ 実習・実験	単位数	卒業認定	担当教員	
演習	1	選択	中津 愛子	
概要				
<p>養護と教育が一体となって展開される保育の基本について学び、幼児期の終わりまでに育ててほしい10の姿を意識して、具体的な保育のねらいと内容を考えるための基礎的な力を養う。 小グループでのディスカッションを通して指導案作成、環境構成を行う。また、指導計画に基づき、グループで模擬保育を実践し、実践後の評価を行なうことで、計画の改善を図るまでの過程を学ぶ。</p>				
到達目標				
<p>(1) 保育所保育指針に示されている保育の目標、子どもの発達、保育の内容を理解し、保育の全体的な構造が説明できる。 (2) 保育内容と子ども理解との関わりについて学び、子どもの生活と発達の実情に即した具体的な指導計画を立案することができる。 (3) 養護と教育が一体となった保育を展開するために、子どもの自発的な活動の基盤となる環境構成、教材準備、保育者の援助の基本を理解し、保育実践につなげる。 (4) 多様な保育の展開を学ぶ。</p>				
授業内容とすすめ方				
<p><b>【前期】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 養護と教育が一体的に展開する保育所保育の基本を学ぶ</li> <li>2 保育所保育指針に示されている保育のねらいと内容に関する基本を学ぶ</li> <li>3 保育内容の歴史的変遷について学ぶ</li> <li>4 保育の観察と記録の方法を学ぶ</li> <li>5 保育場面の観察を通して、集団生活での子どもの発達の姿を理解する</li> <li>6 子どもの発達や生活の連続性を踏まえた保育内容をグループで考え、指導計画を作成する</li> <li>7 養護と教育が一体となった保育を展開するための環境構成、教材準備をグループで行う</li> <li>8 子どもの自発的な活動を支えるための保育者の援助についてグループで検討する</li> <li>9 子どもの活動を予想しながら、遊びを通して総合的に保育する際の留意点を考える</li> <li>10 学生同士で模擬保育を行ない、導入、展開、まとめまでの流れを実践的に学ぶ</li> <li>11 模擬保育を振り返り、グループで計画の練り直し、</li> <li>12 グループ別に3、4、5歳のクラスで、保育実践を行なう</li> <li>13 保育実践を振り返り、改善点をもとに新たな指導計画を作成する</li> <li>14 保育の多様な展開について理解する ー乳児保育・特別な支援を必要とする子どもの保育ー</li> <li>15 家庭や地域、小学校との連携を踏まえた保育の実践のDVDを視聴し、具体的に学ぶ</li> </ol>				
成績評価 方 法	授業参加（関心・意欲・態度）30%、教材作成（表現・技能）20%、指導案作成（知識・理解・思考力・判断力・表現力）30%、レポート（知識・理解）20%			
テキストおよび 参 考 文 献	<p>テキスト：授業中に資料を配布する 参考文献：開仁志 編著「保育指導案 大百科事典」一藝社 森上史朗・大豆生田啓友 編「よくわかる保育原理」ミネルヴァ書房 出雲美枝子著「実習おまかせ Book」ひかりのくに</p>			
メ ッ セ ー ジ な	<p>指導案の作成、教材作成、保育実践は、少人数グループでの演習としますので、それぞれの学生が積極的にアイデアを出し実践するようにしてください。 保育士証：必修科目</p>			

授業科目		対象学科・専攻	年次	期別
教育実習の研究 Study of Practical Teaching at Kindergarten		児童教育学科 幼児教育学専攻	2年次	前期
講義・演習・実技・ 実習・実験	単位数	卒業認定	担当教員	
演習	1	選択	子安 崇夫・田中 奏子・縄田 也千	
概要				
幼稚園教育実習を行うに当たり、心得ておかねばならない事柄を演習形式で進めていく。				
到達目標				
(1) 教育実習の意義と目的を解釈し、実習に必要な基礎的知識と技術を身につけることができる。 (2) 設定保育の準備、指導案作成、保育実践、記録と反省を系統立てて行うことができる。 (3) 保育内容を展開するための具体的方法を探り、実施することができる。				
授業内容とすすめ方				
1 幼稚園実習の意義・目的・幼稚園教育要領について 2 手遊びの基本 3 手遊びの練習 4 手遊びの発表 5 幼稚園の1日について 6 運動あそびについて 7 運動あそびの保育計画の検討 8 運動あそびの保育計画の立案 9 音楽の保育計画 10 人権教育 11 音楽のグループでの保育計画 12 音楽の模擬保育 13 教育実習に向けて（実習日誌必要書類の作成） 14 幼稚園実習の基本的なあり方 15 教育実習を充実させるために（実習日誌の書き方を含む）				
成績評価 方	発表 30%、授業への参加・取り組み 20%、レポート・指導案・記録 50%			
テキストおよび 参考文献	「教育実習の手引き」山口短期大学			
メッセー ジ な ど	幼稚園教諭二種免許：必修科目			